

2023年4月11日

各 位

株式会社 日 伝

## サステナビリティ基本方針の策定及び マテリアリティ（重要課題）の特定に関するお知らせ

当社は、持続可能な社会の実現と企業活動向上に向けて、サステナビリティ基本方針の策定と優先的に取り組むサステナビリティにおける課題をマテリアリティ（重要課題）として特定しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

当社は今後も、事業活動と関わりのある多様な社会課題の解決に貢献し、企業価値向上に努めることで、ステークホルダーの期待にお応えしてまいります。

### 記

#### 1. サステナビリティ基本方針

私たち日伝グループは、社是・経営理念のもと、ステークホルダーとの積極的なコミュニケーションを通じて、『モノづくりの仕組み』を創造し、『産業の基盤』を支える企業集団としてグループ全体の価値向上に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

#### 2. マテリアリティ（重要課題）

##### (1) Environment（環境）

###### 気候変動対策の取り組み

脱炭素社会・循環型社会の実現に向けて、気候変動対策は社会的な重要課題であると認識しており、これまでも地球環境に配慮した製品やシステムを提供するとともに、ステークホルダーとの協働のもとで多様な社会課題の解決に貢献してまいりました。

今後もTCFDの枠組みを通じた、二酸化炭素排出量削減や省エネルギー貢献商品の拡販の推進ならびにその取り組みについての開示を行ってまいります。

##### (2) Social（社会）

###### 多様な人財が成長・活躍できる環境づくり

当社が求める人物像は、まず日伝の社是である「誠実」であること。「誠実」とは挨拶をする、約束を守るなど、人として当たり前のことを当たり前にできる人のことです。

当社の人財は、その「誠実」のもとに社業を通じた人格錬磨を経て会社とともに成長し続けてきました。この当社にとっての重要な経営資源である人財が最大限に活躍できる人財育成体制の構築ならびに働きがいと心の豊さを感じられる社内環境を創出することで、社会の持続的な発展に貢献してまいります。

##### (3) Governance（ガバナンス）

###### 透明性の高いガバナンス体制の構築

豊かな未来の創造に貢献するとともに、さらなる企業価値の向上を成し遂げるために、経営の透明

性・公正性を確保することや、経営環境の変化に対して経営判断の迅速化を行う基盤となるコーポレート・ガバナンス体制を構築します。

(4) **Business**（ビジネス）

社会課題解決のためのものづくりへの新たな貢献

当社は、お取引先様と協働し、当社が有する「人間力」「技術力」「調達力」「情報発信力」を発揮し、ユーザー様をとりまく多様な社会課題解決に取り組み提供価値を高めることで、豊かな未来の創造に貢献してまいります。

3. 今後の取り組みについて

マテリアリティに関する具体的な取り組みと指標・指標を定め、進捗管理を行ってまいります。

また、社会的課題に関連する環境や認識の変化を考慮し、マテリアリティについては、サステナビリティ委員会において定期的に見直しを行ってまいります。

以上